

平成28年度 湖東健康福祉事務所の取り組み

様式2

番号	目標項目	目標設定の理由	平成28年度の目標値 (目標の内容)	目標達成に向けての手段等	基本構想実施計画 関連箇所	総合戦略に係る 関連プロジェクト	担当局・課
1	地域医療構想の具体化に向けた医療機関の機能分化と連携の推進	平成27年度に作成した地域医療構想を実現するためには、急性期から慢性期および在宅まで切れ目のない医療供給体制を構築する必要がある。	地域医療構想調整会議の開催 (全体会議1回/部会2回)	医療・介護関係者、市町などで構成する調整会議を設置し、関係者による協議・調整を進める。	施策2-3 地域を支える医療福祉・在宅看取りの推進	高齢者の社会参加・健康寿命実現プロジェクト	総務調整係
2	生活困窮者支援の充実	生活困窮者に対し相談支援を実施することにより自立を促すこと、次の世代への貧困の連鎖を抑えることが必要である。	管内4町の中で実施に向けての具体的検討に入ることを目標とする	「地域づくり」を見据えて、管内4町を交えた意見交換・研修の場を設ける	施策1-1 子どもを安心して産み育てるための切れ目のない支援	“ひとつながり”の地域づくりプロジェクト	生活保護係
			生活困窮者相談 90件	制度の周知を図り、継続的に伴走型の支援を実施するとともに、支援者のスキルアップを図る			
3	在宅医療福祉の支援体制の充実強化の推進	どんな状態でも自分らしく暮らせるために地域の医療福祉資源を最大限に生かし継続的に在宅療養を支えるしくみが必要である	①ことう地域チームケア研究会の支援(年6回) ②医療福祉ネットワークフォーラムの開催(年1回) ③在宅看取り住民のつどいの開催(年1回) ④退院支援ルール評価検討事業合同会議の開催(年2回)	①②開催世話人会への参画と会への参加 ③住民のつどい開催地の在宅看取り体制づくりのきっかけとするために、つどいの内容企画から在宅看取りの関係者と共に検討する ④「湖東圏域における病院とケアマネージャーの入退院支援のための手引書」を試行し合同会議を開催して評価検討を進める。	施策2-3 地域を支える医療福祉・在宅看取りの推進	高齢者の社会参加・健康寿命実現プロジェクト	地域保健福祉係
4	糖尿病医療連携体制の推進	特に生活習慣改善が必要で、重症化により透析導入につながる糖尿病について、医療費適正化対策も含めた、医療連携における対策が必要である。	湖東圏域糖尿病患者支援ネットワーク会議の開催による連携構築会議開催:2回	関係者からの聞き取りにより、連携のための基本情報を収集した上で、会議において具体的方策を検討する。	施策2-2 健康寿命を延ばすための予防を重視した健康づくりの推進	高齢者の社会参加・健康寿命実現プロジェクト	健康推進係
5	食の安全・安心に関する意識を醸成する取り組みの推進	営業者も消費者も、自ら適切な衛生知識を習得し、食中毒の発生予防とその対応に努める必要がある。	衛生講習会の開催 年12回	管内での出前講座に積極的に取り組み、また、保健所が主催する講習会等はより多くの者が参加できるように調整して開催し、常に正しい最新情報を発信する。	—	—	生活衛生係